

平成29年度サイエンス講座 「Collective behavior of large systems」 (1年理数コース対象)

本校生徒の数学に対する興味・関心を喚起するとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識させ、数学を活用する態度の一層の育成を図る。また、外国人の研究者による英語講演により、グローバル視点の高揚と科学研究へのさらなる意欲向上を図ることを目的に、1月23日(火)、神戸大学大学院理学研究科から Jozef Genzor 博士を講師にお招きし、サイエンス講座を英語で行っていただきました。

当日の様子



生徒の感想

- ・事前のプリントの内容を見て、面白そうな研究分野だと思っていて、実際の講義を聴いてみて、興味がより深まりました。
- ・Large system の例や統計力学が何に使えるかなど具体例が多く、わかりやすかったです。とても面白かったのもっと深く調べてみたいと思いました。
- ・統計力学のコミュニケーションによるステータスの変化が最終的にどのような形に変化していくのがとても印象深く興味をもつことができました。
- ・今している勉強も将来何かに使えるのではないかと思えてきました。互いに関係なさそうなことでも関連づけて考えることが大切だと思いました。
- ・数学や物理などの知識は、それぞれの特定の分野でしか使えないのではなく、工具として、幅広く使えるということを理解できた。
- ・英語があふれた講義で、リスニング、リスニング、リスニングで疲れましたが、外国人研究者の視点から見た研究について、もっと知りたいと思いました。面白かったです。